



平成30年度 第1回学校評価結果について

第1回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は、『確かな学力』に関する質問10項目、『豊かな心』に関する質問4項目、『健やかな体』に関する質問3項目と『情報発信』に関する質問4項目の計21項目の「学校評価保護者アンケート」を夏休み前に実施いたしましたところ、98.2%の保護者の方にご回答いただき、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。

保護者アンケートや児童のアンケートから、ほとんどの児童が学校生活を楽しみ、学習や様々な活動に意欲的に取り組んでいることが分かります。

このことから様々な学習の工夫や改善してきたことが成果となり表れていることや、児童のよりよい関わり合いの中で、お互いを思い合う心や優しい心、尊敬し合う心が育てられていると考えられます。

またこれらの結果は、学校や家庭だけでなく、地域との様々な関わりの中で大切に育てられていることも本校の大きな特徴であります。以下のアンケート結果をふまえて、これまでの教育活動をふりかえり、改善すべき点を次の取組へとつなげていきたいと考えています。



◇保護者アンケート結果一覧表

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
お子さんは、安心して、楽しく登校することができていますか。	52.3%	43.4%	2.8%	1.2%	0.4%
お子さんは、夢や目標をもって活動できていますか。	20.0%	52.8%	21.8%	1.0%	4.4%
お子さんは、学習したことを丁寧にノートに書いていますか。	22.5%	48.8%	20.9%	6.1%	1.6%
お子さんは、人の話をしっかり聞いて理解できていますか。	17.8%	59.0%	19.3%	3.0%	1.0%
お子さんは、学校で勉強している内容がよく分かっていますか。	20.2%	64.4%	11.9%	2.6%	1.0%
お子さんは、自分の思いや考えをすすんで話すことができていますか。	21.1%	52.5%	22.3%	2.4%	1.8%
お子さんは、算数の授業に関心がありますか。	25.3%	49.0%	20.8%	3.4%	1.6%
お子さんは、難しいことでも失敗をおそれずに最後まで挑戦しようとしていますか。	14.0%	49.8%	28.5%	6.3%	1.4%
お子さんは、すすんで宿題に取り組んでいますか。	28.1%	47.6%	17.6%	6.1%	0.6%
お子さんは、すすんで宿題以外の自主的な学習に取り組んでいますか。	15.0%	37.5%	34.4%	11.9%	1.2%
お子さんは、場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができていますか。	18.8%	57.1%	20.4%	2.6%	1.2%
お子さんは、言葉づかいに気を付けていますか。	14.1%	54.7%	26.2%	3.2%	1.8%
学級活動や児童会活動、たてわり(フレンドリー)活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進められていますか。	17.0%	59.6%	8.5%	1.0%	14.0%
お子さんは、友だちや周りの人と協力して課題を解決できていますか。	16.4%	66.3%	7.7%	1.2%	8.3%
お子さんは、人をいじめたり、なかまはずれにしたりしないように行動できていますか。	43.0%	51.7%	1.2%	0.6%	3.6%
お子さんは、安全に気を付けて行動できていますか。	28.3%	61.8%	8.1%	0.8%	1.0%
お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていますか。	33.8%	60.6%	3.6%	0.6%	1.4%
学校だより、学級だより、学校ホームページ等を通じて、学校・担任からのメッセージや学校の様子がよく分かりますか。	25.2%	64.1%	8.3%	1.0%	1.4%
京都嵯峨学園の名称について、保護者の方や地域の方に知っていただいていますか。	19.3%	59.4%	11.8%	2.0%	7.5%
京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができていますか。	13.2%	55.9%	19.6%	1.6%	9.7%
小中の連携した教育活動として取り組んでいますか。	11.9%	49.6%	18.4%	2.2%	18.0%

◇児童アンケート結果一覧表

	よくできています	だいたいできています	あまりできていません	できていない
学校(がっこう)せいかつはたのしいですか。	65.4%	29.3%	3.3%	2.0%
学校(がっこう)でがくしゅうすることはたのしいですか。	60.9%	29.9%	6.8%	2.3%
ゆめやもくひょうをもってがくしゅうできていますか。	60.0%	27.5%	9.6%	2.9%
ノートにべんきょうしたことやかかんがえたことをいねいにかいていきますか。	50.2%	34.5%	11.8%	3.5%
先生(せんせい)やともだちの話(はなし)をしっかりきくことができていますか。	58.6%	35.0%	5.7%	0.8%
学校(がっこう)でのがくしゅうはよくわかりますか。	60.1%	31.7%	5.9%	2.3%
じゅぎょうちゅうに、すすんで手(て)をあげていますか。	47.5%	27.9%	18.6%	6.1%
グループ内(ない)でじぶんのかんがえをすすんではなしていますか。	54.5%	33.1%	9.0%	3.3%
算数(さんすう)のがくしゅうなどでかんがえることはたのしいですか。	62.9%	22.3%	9.2%	5.7%
むずかしいことでも、がんばってちようせんしていますか。	61.6%	30.2%	6.7%	1.6%
しゅくだいは、まい日(にち)わすれずにしていますか。	66.1%	24.9%	6.9%	2.2%
しゅくだいはべつに、家(いえ)ですすすんでがくしゅうをしていますか。	57.8%	22.5%	11.8%	7.9%
学校(がっこう)や家(いえ)で、じぶんからすすんできもちのよいあいさつや返事(へんじ)をしていますか。	55.1%	33.3%	9.4%	2.2%
ともだちや家(いえ)の人(ひと)がかなしくなるようにきをつけていないようにきをつけていますか。	62.2%	29.7%	4.7%	3.3%
フレンドリーかつどうは、たのしいですか。	70.3%	18.8%	8.6%	2.3%
みんなときよりよくして、いろいろなことにとりくんでいますか。	66.1%	27.6%	3.7%	2.5%
人(ひと)をいじめたり、なかまはずれにしたりしないようにきをつけていますか。	85.5%	11.7%	2.0%	0.8%
学校(がっこう)や家(いえ)で、あんぜんにきをつけて行動(こうどう)していますか。	79.5%	16.4%	2.9%	1.2%
学校(がっこう)や家(いえ)での「きまり」をまっていますか。	64.5%	30.1%	4.5%	1.0%
学校(がっこう)でくばられた手紙(てがみ)やプリントをきちんとお家(うち)の人(ひと)にみせていますか。	72.7%	19.9%	5.1%	2.3%



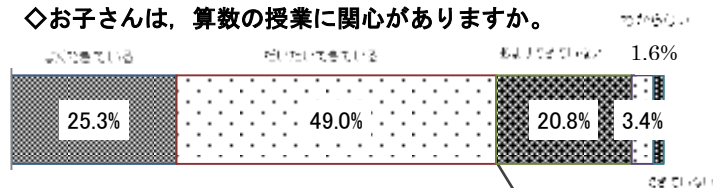


『確かな学力』の育成に向けて

★主体的・対話的で深い学びを続け、児童の話す・聞く力を伸ばします。

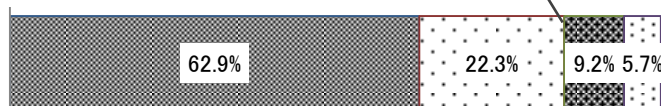
【保護者】

◇お子さんは、算数の授業に関心がありますか。



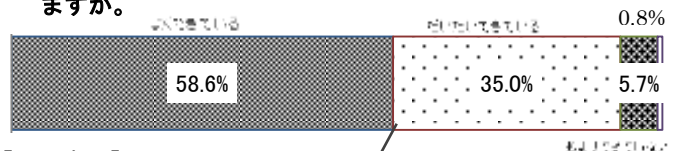
【児童】

◇算数の学習などで考えることは楽しいですか。



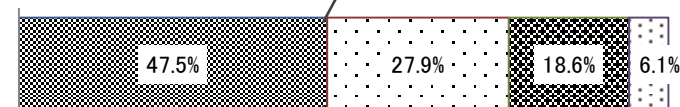
【児童】

◇先生や友達の話をしっかり聞くことができますか。



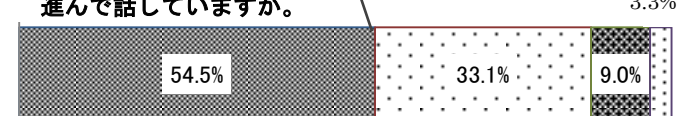
【児童】

◇授業中に進んで手をあげていますか。



【児童】

◇グループ内で自分の考えを進んで話していますか。



本校では算数科の学習を研究していく中で、主体的に学習に向かう子・学習したことを豊かに表現できる子を目指してきました。全学年で授業スタイルを共通理解し、発達段階に応じた「子どもたちが学び合う授業」に取り組んだり、各教科の全ての授業において学習課題（めあて）とまとめ（ふりかえり）を明確にし、児童のノート指導にもつなげたりすることを大切に授業を進めてきました。また、教科書の問題以外に子どもたちが興味をもって意欲的にできる問題を取り入れる、わかるまでしっかり取り組み自信につながるようにする、嵯峨小の授業スタイルを確立してきたことも子どもたちが考えることが楽しいと感じている成果なのではないでしょうか。

しかし一方では話す聞くことに関する質問は「よくできている」と感じている児童が少し減っています。教職員の中でも、聞いてはいるが大事なことを落とさずに聞くことには課題がある、授業中に発表する子どもが決まっている、グループ内での話し合いでも中心になって話す子どもが決まってしまうという声がありました。そこで、後期には自分で考えたことを相手意識をもって言葉で説明すること、話し合いのグループを工夫して話しやすい環境にすること、友達の意見に付け加えていくことでみんなの意見をまとめていくことをさらに大切にしていきたいと考えています。子どもたちが自分の考えを伝えたい、友達の意見を聞きたいと思えるようにしていくことで、さらに学ぶことが楽しくなるのではないかと考えています。

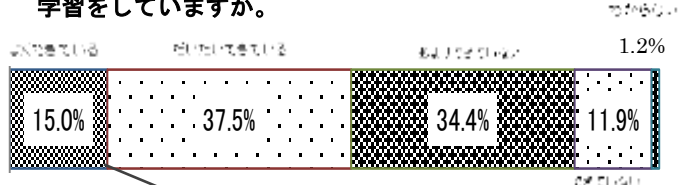


★主体的な学びを目指した取り組みを行っています。



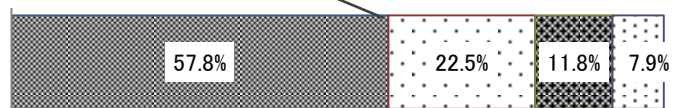
【保護者】

◇お子さんは、進んで宿題以外の自主的な学習をしていますか。



【児童】

◇宿題とは別に、家で進んで学習をしていますか。



『エスノート』とは子どもたちが計画を立て、実践し、振り返り、また次の計画を立てることができるように作られた手帳です。計画を立てる中でいつ何をすればいいのか考えることができ、自分の時間を管理していく大切さを学んでいきます。中学校でも引き続き使います。

今回のアンケートの中で、保護者の方が「あまりできていない」「できていない」と一番感じておられる項目です。この項目は昨年度も「できていない」と感じておられたようです。しかし、昨年度より行っている『ステップアップ学習のヒント』の配布や、『自主学习ノート』の取り組み、5校時開始前10分間の『チャレンジタイム』の帯時間の取り組みも力となり、今年度は保護者の方も児童も「よくできる」「だいたいできている」が増えてきました。また、今年度より2年生から『自主学习ノート』を始めたことや6年生が取り組んでいる『エスノート』も少しずつ成果を上げていると考えられます。



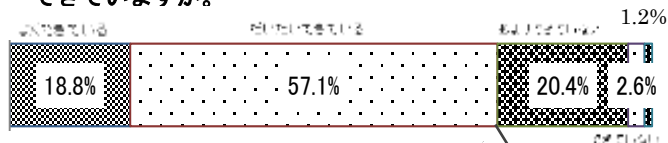


『豊かな心』の育成に向けて

★高学年をお手本に，子どもたちが主人公になれる取り組みを進めます。

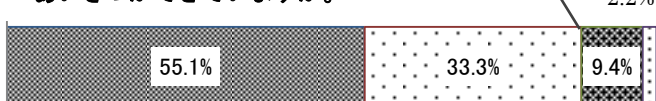
【保護者】

◇お子さんは，場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができていますか。



【児童】

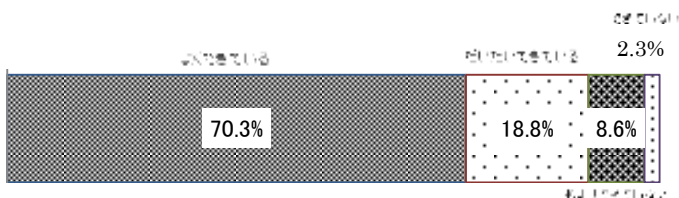
◇場に応じた気持ちのよいあいさつができていますか。



あいさつや言葉づかいの項目に関しては，「だいたいできている」と考えられます。学校の中でも『3つのあ』を大切にしていることもあり，子どもたちの意識も高いと言えます。しかし，保護者の方のアンケートを見ると「よくできる」が少なく，「あまりできていない」が多いと感じます。学校内の子どもの様子でも気になる点として，自らあいさつができない，あいさつに対して頭を下げるだけになっている，あいさつはするが声が小さいという意見がありました。

【児童】

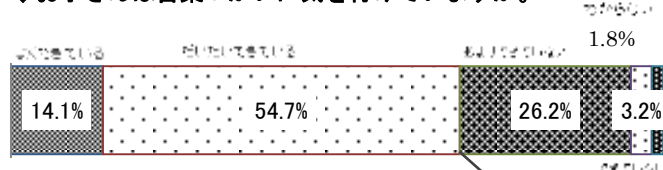
◇フレンドリー活動は楽しいですか。



この2つは子どもたちが「よくできている」と感じている項目です。この結果から，学級や学年，たてわりグループで楽しく過ごしていることがわかります。また，みんなと協力できているということも学校での様々な取り組みが楽しいということにつながっているのではないのでしょうか。各学年の具体的な取り組みとしては，学校行事を中心に協力することの大切さや，やり遂げた達成感を味わえるようにしています。そういう経験を重ねてきた子どもたちは，自分の学年に対して所属感を感じており，いろいろな場面で話し合いを行ったり，助け合って活動したりできるようになってきています。高学年になってくると自分たちで企画してより活動を目指し，相手を喜ばせようとする力も付いてきています。今後も子どもたちの力が発揮できる行事や取り組みを推進していきます。

【保護者】

◇お子さんは言葉づかいに気を付けていますか。

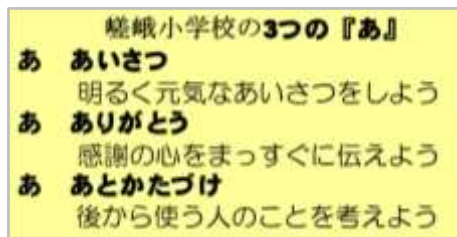


【児童】

◇友達や家の人が悲しくなるようなひどい言葉づかいをしないように気を付けていますか。

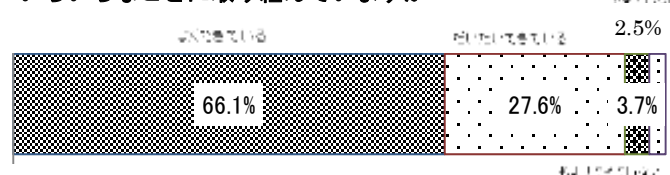


また，言葉づかいに関しても同じような傾向が見られます。学校生活の中でもあいさつや言葉づかいの大切さを伝えると共に高学年がよいお手本となるよう取組を進めていかなければなりません。



【児童】

◇みんなと協力して，いろいろなことに取り組んでいますか



様々な行事を通して協力することの大切さを感じてきました。高学年はお手本となって全校をまとめていきます。

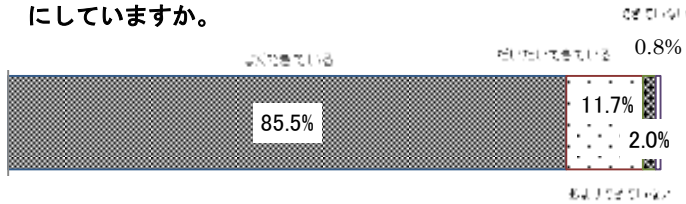


『健やかな体』の育成に向けて

★1人1人を大切にすることで子どもたちが安心して過ごせる学校を目指します。

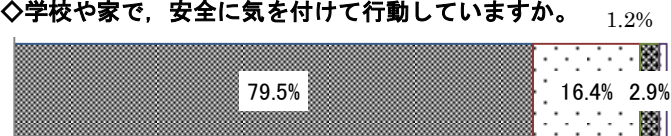
【児童】

◇人をいじめたり、なかまはずれにしたりしないようにしていますか。



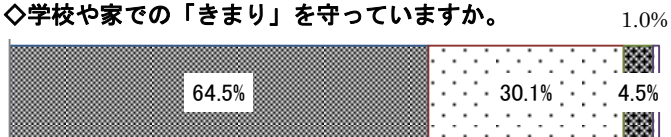
【児童】

◇学校や家で、安全に気を付けて行動していますか。



【児童】

◇学校や家での「きまり」を守っていますか。



『健やかな体』に関する項目は昨年度同様、良い結果を得ることができました。全体的に自分もまわりの人も大切にしていると受け取っていいのではないのでしょうか。『嵯峨小のきまり』はしっかりと守らなければならないものと意識し、高学年がお手本となって行動していることも成果であると言えるでしょう。また、『地域の子どもは地域で守る』という言葉通り、嵯峨の地域の皆様が子どもたちをしっかりと見守ってくださっています。登下校の見守りや、交通安全、自転車の安全な乗り方など地域の方から教えて頂いたことがしっかりと子どもたちの中に根付いています。しかし、「あまりできていない」「できていない」という数パーセントの子どもたちがいることも忘れてはいけないと感じています。最近では、「ケータイ電話によるトラブルなども心配。」という声もあります。ケータイ教室やメディアリテラシーについての授業なども行っていますが、やはり地域、家庭、学校が連携してしっかりと子どもたちを見守っていかねばなりません。今後ともご協力をお願いします。



学校運営協議会による学校関係者評価

10月18日（木）に学校運営協議会を開催し、平成30年度第1回学校評価結果についての学校関係者評価をいただきました。今回のご意見をもとに本校の取組を点検し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。

✓ 確かな学力

教室をユニバーサルデザインにしたことで、学年が変わっても、教室の設えは同じなので安心して新学期が迎えられる環境になっているのはよいことである。学習面では、子どもたちが主体的に学習するために、図書館の活用の奨励や「ステップアップ学習のヒント」など学習するための指標を示していくことが大切である。

✓ 豊かな心

子どもたちが、仲良くしている姿を目にすることが多い。特に他学年の友達と一緒に協力できている様子が嬉しい。集団登校ではリーダーがしっかりとあいさつできるグループは他の子どもたちも元気にあいさどできる。しかし、「おはようございます」「さようなら」は言えるが、「こんにちわ」と言える子は少ないように感じる。今後は様々な場面であいさつができる嵯峨の子になってほしい。

✓ 健やかな体

子どもたちの危険なことに対する意識は高いように感じる。これは、小学校で行われている自転車教室や登下校の見守りなどがあるからだと考えられる。しかし、低学年の児童が車のかげになって危ないと感じたこともあった。地域・学校が連携して子どもたちの安全を見守っていくことが大切である。